

数 学

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（ノート、ワーク、レポート）③単元テスト ④小テスト
⑤定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成していく。			
観 点	学習活動	① 授 業 観 察	② 提 出 物	③ 単 元 テ ス ト	④ 定 期 考 査
		指導の重点や評価するに当たって重視する事柄			
知識及び技能	知識・技能	○		◎	◎
		基本的な事項の理解をしている 基本的な技能を身に付けている			
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現	○	◎	○	◎
		知識・理解を活用し問題解決に必要な思考力、判断力、表現力を身に付ける。			
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	○	△
		知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けようと主体的に取り組んでいる			
	感性・思いやり	個人内評価			
		各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など			

(3) 評価規準

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則など理解する。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理する能力を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付ける。
- ・数量や図形などの性質を見だし総合的・発展的に考察する力を身に付ける。
- ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を身に付ける。
- ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする力を身に付ける。